

試験結果報告書

製品名：ハイモルスーパー#20-I

試験名称：JIS A 6916:2021 建築用下地調整塗材 (CM-2)

2023年 1月 1日

株式会社レゾナック建材

品質保証グループ



1. 試験目的

ハイモルスーパー#20-Iにおける、「JIS A 6916:2021 建築用下地調整塗材 (CM-2)」の性能適合性の確認を行う。

2. 試験内容

「JIS A 6916:2021 建築用下地調整塗材 (CM-2)」に定められた試験方法により下記項目の試験を行った。

- ① 軟度変化試験
- ② 耐ひび割れ試験
- ③ 耐衝撃性試験
- ④ 曲げ強さ試験
- ⑤ 圧縮強さ試験
- ⑥ 付着強さ試験 (標準養生、低温養生)
- ⑦ 吸水試験
- ⑧ 透水試験
- ⑨ 長さ変化試験
- ⑩ 仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験
- ⑪ 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験

3. 商品名・種類及び使用方法

表-1. 商品名及び調合

商品名		ハイモルスーパー#20-I
種類		セメント系下地調整厚塗材 2 種 下地調整塗材 CM-2
正味質量	粉体	25kg/袋
使用方法	基本調合	粉体:ハイモルマルジョン:水 =25kg:1.7kg:6.8kg
	標準塗面積	約 7.0m ² /袋 (塗厚 3mm)
	標準塗厚	0~5mm
	可使時間	約 1 時間

4. 試験条件

① 試験室及び養生室の状態

表-2. 試験室及び養生室の状態

	温度(°C)	湿度(%)
試験室	20±5	65±20
一般養生室	20±2	65±10
湿空養生室		80以上

② 調合及び塗厚

表-3. 調合及び塗厚

調 合	粉体：ハイモルゾン：水 =1500g：102g：408g
塗 厚	5mm

③ 付着強さ試験用基板の表面処理方法

プライマー（ハイモルゾンEV-300）の5倍液（プライマー：清水=1：4）を刷毛で1回（150g/m²）塗布し、皮膜が乾燥するまで静置する。

5. 試験結果

① 軟度変化試験

軟度変化試験の結果を、表-4に示す。

表-4. 軟度変化試験結果

	フロー値		軟度変化 (%)
	初期	60分静置後	
1	155	168	-8
2	157	168	-7
3	152	165	-8
平均	—	—	-8

② 耐ひび割れ試験

耐ひび割れ試験の結果を、表-5 に示す。

表-5. 耐ひび割れ試験結果

番号	試験結果
1	ひびわれの発生は認められなかった
2	ひびわれの発生は認められなかった
3	ひびわれの発生は認められなかった

③ 耐衝撃性試験

耐衝撃性試験の結果を、表-6 に示す。

表-6. 耐衝撃性試験結果

番号	試験結果
1	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった
2	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった
3	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった

④ 曲げ強さ試験

曲げ強さ試験の結果を、表-7 に示す。

表-7. 曲げ強さ試験結果

番号	曲げ強さ (N/mm ²)
1	8.3
2	8.7
3	8.1
平均	8.4

⑤ 圧縮強さ試験

圧縮強さ試験の結果を、表-8 に示す。

表-8. 圧縮強さ試験結果

番号	圧縮強さ (N/mm ²)	
1	29.6	26.7
2	28.8	28.2
3	30.0	29.1
平均	28.7	

⑥ 付着強さ試験（標準養生、低温養生）

付着強さ試験（標準養生、低温養生）の結果を、表-9 に示す。

表-9. 付着強さ試験（標準養生、低温養生）結果

番号	標準養生		低温養生	
	付着強さ (N/mm ²)	破断位置	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	1.5	下地調整塗材	1.0	下地調整塗材
2	1.3	下地調整塗材	1.3	基材
3	1.8	下地調整塗材	1.6	基材
平均	1.5		1.3	

⑦ 吸水試験

吸水試験の結果を、表-10 に示す。

表-10. 吸水試験結果

番号	吸水前の質量 (g)	吸水後の質量 (g)	吸水量 (g)
1	261.15	262.37	1.22
2	259.10	260.04	0.94
3	260.49	261.58	1.09
平均	-	-	1.1

⑧ 透水試験

透水試験の結果を、表-11 に示す。

表-11. 透水試験結果

番号	透水量 (mL/h)
1	0.05
2	0.03
3	0.05
平均	0.0

⑨ 長さ変化試験

長さ変化試験の結果を、表-12 に示す。

表-12. 長さ変化試験結果

番号	長さ変化率 (%)
1	-0.08
2	-0.09
3	-0.09
平均	-0.09

⑩ 仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験

仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験の結果を表-13 に示す。

表-13. 仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験結果

	温冷 10 サイクル後の 表面状態	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.0	下地調整塗材
2	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.0	下地調整塗材
3	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.0	下地調整塗材
平均		1.0	

- ⑪ 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験
仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験の結果を表-14に示す。

表-14. 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験結果

	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	0.9	タイル張付用モルタル
2	1.0	下地調整塗材
3	0.7	下地調整塗材
平均	0.9	

6. 試験結果一覧表

試験結果一覧表を表-15に示す。

表-15. 試験結果一覧表

試験項目	試験結果	品質基準 (JIS A 6916:2021) CM-2	品質基準値に 対する適・不適	
軟度変化 (%)	-8	-20~20	適	
耐ひび割れ性	ひびわれの発生は認められなかった	ひび割れない	適	
耐衝撃性	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった	ひび割れ及び剥がれない	適	
曲げ強さ (N/mm ²)	8.4	5.0 以上	適	
圧縮強さ (N/mm ²)	28.7	10.0 以上	適	
付着強さ (N/mm ²)	標準養生時	1.5	1.0 以上	適
	低温養生時	1.3	0.7 以上	適
吸水量 (g)	1.1	2.0 以下	適	
透水量 (mL/h)	0.0	0.5 以下	適	
長さ変化 (%)	-0.09	0~-0.15	適	
仕上材が 複層仕上塗材 の場合の 耐久性	表面状態	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	割れ、膨れ及び剥がれない	適
	付着強さ (N/mm ²)	1.0	1.0 以上	
	破断位置	下地調整塗材	仕上塗材だけで破断した場合は付着強さは0.7以上	
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性 (N/mm ²)	0.9	0.6 以上	適	

*本試験結果は、弊社 により行った結果であり、製品の代表値ではありません。

以上